

編集後記：本号がお手許に届く頃には、梅雨も明け暑い夏になるのですが、この原稿を書いている6月末現在では、関東地方は「からつゆ」。ダムの貯水量報告や節水の呼びかけが連日のように行われている。根本的な渇水対策として、鈴木東京都知事が「信濃川の水を東京へ」という案を出し、現実化するか夢と終わるか話題となっているが、信頼性の高い半年位先の雨量予報によってもっと早い段階からの節水が行われるようになるのは、いつごろか、もしくは全くの夢なのか、気になるところではある。

さて、今回の本題(?)は、記事大募集のお知らせ。最近、いろいろな新企画でにぎやかになった紙面だが、「質疑・応答欄」もその1つ。気象と関係したものならどんな質問でも、質問さえ寄せてくれれば、編集委員が

責任をもって回答者を見つけ、必ずや納得のいく回答が得られるという便利なもの。会員諸氏が、疑問に思ったこと、さらには、生徒・学生・その他一般の人に聞かれて一応答えたが、他の人ならどんなふうに応えたかなと思ったことなど、なんでもかんでもお寄せ下さい。

これまで長い間書記を務めていただいた大竹さんがおやめになることになりました。長い間、大変ありがとうございました。新しく書記をお願いする方は長谷川初美さん。当面の間、出勤日は、月・火・木・金、勤務時間は11時から15時です。

(ここ数年、雨の観測に関係し、予報の難しさを改めて痛感している「質疑・応答欄」担当の編集委員=青葉若葉)